

役員賞与は増加、報酬は減少傾向

Q :平成15年度の法人企業統計の調査結果が公表されたそうですが、どのような内容だったのですか？

A :次のような内容になっています。

【解説】

平成15年度の法人企業統計調査によりますと、売上高、経常利益は増収増益になっているものの、役員給与の総額は伸びずに減少、かわりに役員賞与が増加しているといった結果になっています。

役員給与のウエイトが業績を反映する賞与に移行しつつあるということがいえそうです。

具体的に見てみますと次のようになっています。

売上高の総額は前年度を7兆8,717億円上回る1,334兆6,737億円。食料品、金属製品製造業、建設業、卸売業、小売業、電気業で減収したもの、全体では0.6ポイントの増加となっており、平成14年度からは若干の増収に転じています。

経常利益も不動産業を除き、全産業が増益となっており、全体では16.8%の増加率になっています。

役員報酬は、昨年度に比べ1兆2,399億円減少の27兆6,256億円。

役員賞与は、710億円増加の9,676億円になっています。

役員報酬と賞与の総額では、28兆5,932億円で平成14年度の29兆7,622億円より1兆1,690億円少なくなっています。

